

消毒ロボット—空気消毒

Q1: 消毒ロボットとは何ですか? 何ができますか?

A: これらの機器は、紫外線消毒を自動操作し、過酸化水素/次亜塩素酸ナトリウムや空気ろ過システムなど消毒剤を乾燥散布できるように医療施設のために設計されています。

Q2: 人工消毒と比べて、消毒ロボットのメリットとデメリットは何ですか?

A: デメリット:

- 消毒のレベルに一貫性がない: 隅消毒が漏れやすい;
- 職業的危害: 低濃度のペルオキシ酢酸でも発癌物質にさらされ、10年以上の発癌率は53%、次亜塩素酸ナトリウムの発癌率は44%。ホルムアルデヒド消毒剤による発癌率62%; 消毒後に残留しやすい;
- 人件費が高い

メリット: 消毒は徹底、360度照射、死角なし。人と機械の分離、自動殺菌方式、自己殺菌、人体に無害。消毒後、作業員は化学品の存在を検査・測定した後に入り、できるだけ傷害のリスクを減らすことができます。

Q3: 消毒ロボットの使用はどのくらい成功していますか? 何か良い事例はありますか?

A: この消毒ロボットは医療業界のために開発された消毒ロボットであり、消毒能力は医療機関の検査に合格しています。現在、このロボットは中国の60以上の一流病院で使われています。

武漢では、10台のロボットが隔離病棟、外来、手術室などの指定病院、例えば協和病院、中南病院、中央病院などで使われました。

Q4: 納期、価格、ビジネスモデルはいかがですか?

A: 納期はご注文、全額支払い後15日です。

価格:TBA

ビジネスモデル: 支社はロボットを購入し、レンタルや販売することが可能です。

デリバリーロボット

Q1: デリバリーロボットとは何ですか? なぜデリバリーロボットが必要なのでしょう?

A: デリバリーロボットは、自律ナビゲーション及び移動技術を利用して、室内の無人配送サービスを実現する知的配送サービス機器です。人との接触を減らすことはウイルスの伝染リスクを減らすことが可能です。スマートエレベーターシステムと協力して、エレベーターの利用頻度を減らし、感染のリスクを下げる事が可能です。主な業務は内部のオフィス書類や材料、外部の宅配便、レストラン内外への食べ物の配布です。

Q2: 納期と業務モデルは何ですか?

A: 納期は注文全額払い後10日です。支社はロボットを購入し、レンタルや販売することが可能です。

Q3: 何か良い事例はありますか？

A: はい。これらの措置はすでにケリーシティ(上海); 上海漕河泾開発区公司大楼、通泰大楼(北京金融街)で実施されました。

大画面インタラクティブロボット

Q1: 大画面インタラクティブロボットとは何ですか？何かできますか？

A: ロボットであり、フロントで自動的な登録と顔の識別を行います。訪問者を案内でき、適当な階までノータッチのエレベーターを作動させることもできる。体温を測定し、異常温度を会社に知らせる赤外線イメージングシステムもあります。

Q2: 大画面インタラクティブロボットのメリットは何ですか？

A: 訪問者とスタッフ、物品との接触を減らす。また、訪問者がフロントで登記あるいはビルに入るのをエスコートする時間を減らしました。ゲートに入ってエレベーターまで案内することで、セキュリティや表面との密接な接触を減らし、エレベーターごとの人数を最小限にし、接触による汚染のリスクを減らします。

赤外線システムは感染者がビルへの進入することを防ぎます。

ロボットは挨拶や情報共有、広告にも利用できます。多くの言語を話せる、言語の問題やバイリンガルの需要を減らします。

Q3: 何か良い事例はありますか？

A: 展示ホール、博物館、アートギャラリーなどにも利用されています

Q4: 納期と業務モデルはいかがですか？

A: 2020年2月末に運用を開始する。納期は注文全額払い後20日です。支社はロボットを購入し、レンタルや販売することが可能です。